

管理者コンソール > 詳細

# 試験組織を本番用に準備してください

## 試験組織を本番用に準備してください

このガイドは、成功した試用期間の後、Bitwardenの本番実装に向けてビジネスを準備するのを支援します。試用期間を始めたばかりの場合は、このガイドを使用する前に、[概念証明プロジェクトチェックリスト](#)から始めることをお勧めします。

### ステップ1：あなたの組織をアップグレードするか、再開する

ビジネスで試用組織を本番環境に移行する準備ができれば、既存の組織をその場でアップグレードするか、新しい組織をゼロから始めることができます。

ほとんどの顧客は、既存の組織をその場でアップグレードし、試用期間中に使用したテストデータを保管庫からバージしてから、すべての共有データを本番環境にインポートします（ステップ4a）。

ステップ	期間 (時間)	アクション	説明
1a	0.5	あなたの組織をアップグレードするか、再開してください。	あなたの組織をアップグレードしてくださいまたは新しい組織を始めてください。



#### Tip

If you choose to start a new organization for your production implementation, revisit the [Proof-of-Concept Project Checklist](#) and work through those steps before proceeding.

### ステップ2：より広範なオンボーディングの準備

あなたの試験組織にはおそらく多数のメンバーがいるでしょうが、ほとんどのビジネスは本番環境に移行するときにはるかに多くのユーザーを追加します。それを念頭に置いて、あなたがチームの残りのメンバーをオンボーディングする前に取るべきいくつかの重要なステップがあります：

ステップ	期間 (時間)	アクション	説明
2a	0.5	あなたのポリシー設定を確認してください	すべてのメンバーが参加するとすぐに設定したポリシーが適用されるように、すべての望ましいポリシーが有効になっていることを確認してください。
2b	0.25	マスターパスワードリセットを有効にする	多くの組織では、マスターパスワードを忘れたユーザーや利用停止されたユーザーのアカウントを回復する能力のため、マスターパスワードのリセットポリシーは重要と考えられています。このポリシーを今すぐアクティブ化してください。

### ステップ3：製造ライセンスを取得する

この手順は、[Bitwarden](#)を自己ホストしている場合にのみ適用されます。Bitwardenの試用期間中、特別な試用ライセンスを使用していますが、これを製品ライセンスにアップグレードする必要があります。自己ホスト型のサーバーをプロダクションライセンスにアップグレードすると、自動ライセンスの同期を有効にすることができます。これらのステップに従ってください：

ステップ	期間 (時間)	アクション	説明
3a	0.25	あなたの生産ライセンスを取り出してください。	これらの手順に従ってBitwardenクラウドウェブアプリから製品ライセンスを取得してください。
3b	0.25	ライセンスファイルを手動で更新してください。	取得したライセンスを自己ホスト型サーバーにアップロードするには、 <a href="#">手動更新手順</a> に従ってください。こちらをクリックしてください。
3c	0.5	請求の同期を有効にします	将来的にライセンスファイルを自動的に引き出すように、あなたの組織を設定してください。その方法は、 <a href="#">自動同期手順</a> ここを参照してください。

## ステップ4：あなたのデータをインポートします

あなたのチームの残りのメンバーをオンボーディングする前に、必要な資格情報がすべてあなたの組織に集められていること、そしてメンバーがオンボーディングされた後に必要なものだけにアクセスできるようにすることを確認してください。

多くのお客様は、試用期間中に使用したテストデータを保管庫からパージし、すべての共有データを本番環境にインポートします（**ステップ4a**）。組織の**設定→組別情報表示**から保管庫データをパージすると、重複の作成を防ぎ、クリーンな状態から始めることができます。

あなたはこれらのステップのほとんどまたはすべてを完了しているかもしれませんが、満足のいくようにそれらが完了しているかを再確認することをお勧めします：

ステップ	期間 (時間)	アクション	説明
4a	0.5	あなたのデータをインポートしてください	すべての共有データを運用組織にインポートします。
4b	0.5	コレクションを監査する	広範なアクセスを許可する前に、あなたのコレクションが正しい保管庫アイテムを含んでいることを確認してください。
4c	0.5	監査グループ	あなたのグループが正しいコレクションに割り当てられていることを確認してから、より多くのユーザーを割り当ててください。

さらに、今はあなたの管理チームの個々のユーザーに付与している権限を確認するのに良い時期です。メンバーの役割と権限についての良い実践を今定義しておく、より多くの従業員をオンボーディングする際に、ユーザーの昇進が容易になります。

ステップ	期間 (時間)	アクション	説明
4d	0.75	メンバーの役割割り当てを見直してください	Bitwardenで利用可能な事前定義された <b>メンバーの役割</b> を確認し、IT、管理者などに適切な役割を決定してください。
4e	1	カスタム管理者アカウントを設定する	多くの組織では、ユーザーに細かいレベルの権限を割り当てるために、管理者のためのカスタム役割を作成することが有用であると考えています。このガイドを <b>チェックアウト</b> して、ベストプラクティスをいくつか確認してください。

## ステップ5：クライアントアプリの設定

間もなく多くのユーザーがBitwardenを使用し始めるため、中心的に設定し、主要なBitwardenアプリケーションをデプロイするためのプロセスを設定すると便利です。

ステップ	期間 (時間)	アクション	説明
5a	1	自己ホスト型の設定のためのクライアントを設定します	<b>セルフホスト型のみ</b> 。Bitwardenクライアントは、あなたの自己ホスト型サーバーを指すように事前に設定することができます。それを行うには、 <b>これらの指示</b> に従ってください。
5b	1	管理デバイスにブラウザの拡張機能をデプロイします。	Bitwardenのブラウザ拡張機能は、エンドユーザーが日々のワークフローで最も頻繁に使用するアプリで、自動的にユーザーのデバイスにデプロイすることができます。それを行うには、 <b>これらの指示</b> に従ってください。

## ステップ6：あなたのチームをオンボードする

あなたの組織が本番環境で使用する準備ができたので、残りのユーザーをオンボードしてください。あなたが試用期間中にどのように組織を設定するかにより、これは次のようになるかもしれません：

- SCIMを使用して
- ディレクトリコネクタを使用する
- 手動での招待を使用しています

強く推奨します、オンボーディングと後継ガイドを見直すか、再度見直すことを、残りのユーザーをオンボーディングする前に。